接触場面における直接話題転換方略に関する一考察
−初対面場面の会話を維持するために−

エミ・インダー・プリヤンティ
東北大学大学院文学研究科
emmy_ip@yahoo.co.jp

1.　発表の目的

これまでの研究では話題転換方略は「なんか」「あのー」などの言語的表現や「笑い」「間」などの非言語的手続きを用いることとして捉えられている（楊 2005、花村 2012 など）。そのため、それらの前置きがない直接話題転換方略はあまり取り上げられていない。直接話題転換方略は直前の話題を終了し、話題を転換するときに何の前置きもなく行うものを意味する。本発表では、インドネシア人と日本人の日本語の会話で、両者が使用している直接話題転換方略の使用状況及び方略の特徴を明らかにすることを目的とする。

2.　調査概要

調査は 2010 年 8 月から 10 月に行い、4 組のインドネシア人と日本人の日本語の自由会話を録音・録画したものをデータとした。被調査者は調査実施の場所ではじめて面会するもの同士である。インドネシア人被調査者は JSL 学習者であるため、日本語に接する機会が多いと予測する。

それぞれの会話の長さは 20 分程度であり、合計 80 分程度である。分析に使用するデータは文字化した会話データである。また、被調査者の内省を調べるために、会話終了後にフォローアップ・インタビュー（FUI）を実施した。録音した FUI を必要なところのみ文字化し、会話データの分析の際、参考資料にした。

3.　結果と考察

3.1　出現した全ての話題転換方略

調査の結果でみられた方略は談話マーカー、フィラー、独り言、直接話題転換方略、「笑い」と「間」に分類した。談話マーカー、フィラー、独り言、直接話題転換方略を言語的方略のカテゴリに分類し、「笑い」と「間」を非言語的方略のカテゴリに分類した。出現した話題転換方略は表 1 の通りである。

表 1 をみると、インドネシア人より日本人のほうがバリエーションの多い方略を使用していることわかった。また、直接話題転換方略はインドネシア人のみではなく、日本人にも使用されることも明らかになった。

調査の結果では合計 105 回の話題転換がみられた。そのうちインドネシア人が行った話題転換は 35 回（33.3%）で、日本人が行った話題転換は 70 回（66.7%）である。

表 1　出現した話題転換方略

言語的方略	談話マーカー	[1]なんか、でも [2]で、ちなみに、そして [3]そういえば、なので、だから、だって、あと、じゃ
	フィラー	[1]え(ー)と、ん(ー)、あ(ー) [2]まー
	独り言	[3](あと)なんだろう
	[1]直接話題転換方略	
非言語的方略	[1]「笑い」、「間」	

3.2　直接話題転換方略

合計 105 回の話題転換の中、34 回（32.4%）の直接話題転換方略がみられた。そのうち、インドネシア人の直接話題転換方略は 11 回で、日本人の直接話題転換方略は 23 回であった。この数はインドネシア人が行った話題転換と日本人が行った話題転換の割合からすると、インドネシア人と日本人の直接話題転換方略の使用の割合はほとんど同じだといえる。

また話題の内容からみると、直前の話題や発話に関連する話題転換をするときも（再出型話題転換）全く新しい話題転換をするときも（新出型話題転換）、直接話題転換方略の使用がみられた。しかし、この方略は再出型話題転換のときに使用される傾向がある。そのため、この方略の使用によって会話の流れに違和感を覚えることはないと FUI で確認された。

データ 1 は再出型話題転換時の直接話題転換方略の使用例である。データ 1 では、039U の来日時期と 043U の来日理由という話題が繋がっているため、直接話題転換方略が問題なく使用される。

データ 1

→　039U：いつ来たんですか，日本に.

040F：えとにせん：：ななねん（(2007 年は：：)）

041U：3 年前

042F：3 年前ですね（(へ：：)）今は 4 年目です.［.ｈｈ

→　043U：　　［なんで,なんで日本に来たんですか？.ｈｈ

044F：へ：：：(.）学部生のとき（(はい)）日本文学を（(お：)）勉強していたんですけど

それに対して、データ 2 は新出型話題転換時の直接話題転換方略の使用例である。データ 2 では 011T と 016E の話題が異なっているが、015T で「インドネシア人の名前の長さ」という話題が 0.2 秒の沈黙で終了したと捉えることができる。それで、T が新しい話題を考えているときに E はターンをとって先に新しい話題を提供することができた。

データ 2

→ 011T：インドネシアの方ってな - みんな，そんぐらい，お名前が，長いんですか？

012E：＝そうですね：一般の人だと：そんなに：長くないんですけど：((うん：)) (0.2) 二つの：(.) ま名前とゆか [持ってて] ([二つへ：：]) ふ.ｈ

013T：ミドルネームみたいなもんですか？

014E：そうですね [あの] ([゜ふん：゜))：family name ないので [：] ([゜ふん゜])) もうすべては，名前で ((へ：：)) はい．であたしの場合は：：(.) 三つの言葉，((゜↑ふん：゜)) で：ま - ちょっと珍しい場合です [けど] ([ふん：] ゜そうなんですか゜))

015T：へ：：なんかすごいなｈｈん (0.2) .ｈｓｓ

→ 016E：=大学生ですか (゜そうです゜)

しかし、新出型話題転換時の直接話題転換方略はいつでも使用できるとはいえない。被調査者は会話の初段階で「年齢」という話題を方略なしで直接提供されたため、相手の話題転換に戸惑ったと FUI で述べていた。データ 3 はその実例である。

データ 3：

001S：んじゃ改めまして、((あはい)) え - とここのＮ研究室の 3 年のＳと申します．(.)

002D：え私は（Ｘ研究科Ｙ）研究室からえ：：：m：：に：え：：学生なのでインドネシアから来ました．((うん)) よろしくお願いしますｈｈｈｈ＝

→ 003S：い - 何歳ですか？

→ 004D：え？なんさいって：：(.)なんさい？

005S：えとしえぼ -

006D：[何歳ですか]

007S：[今年でえにじゅ]っさい：：今にさい

008D：お私はにじゅう：よんさい

→ 009S：お：：：[なるほど ([ｈｈｈｈ])) い - いつ：来たんですか，日本に？

S は 002D の発言が終わってすぐ 003S で D の年齢を聞いた。それを聞いた D は戸惑っており、すぐに質問に答えなかった。D は会話の初段階で自己紹介を終えたあとにすぐ年齢を聞かれたので戸惑っていたと FUI で述べていた。S が年齢を聞く前になぜその質問を聞いたかを伝えたり、009S に年齢に関する話題を提供したりする場合、D はそれほど戸惑っていなかったかもしれない。

3.3　考察

調査の結果から直接話題転換方略は直前の話題や発話に関連のない話題転換に使用されると、会話の流れを妨げる要因になる場合もあることがわかった。その問題が生じないように、話題の内容や話題を提供するタイミングを配慮すべきである。「年齢」のようなプライバシーに関わる話題は会話が始まった段階に提供しないほうがいいのであろう。

また、直接話題転換方略を使用して会話を維持する際には、新出型話題転換よりも再出型話題転換のほうが危険性が低いと考えられる。直前の話題に関連する話題を提供することで、相手に戸惑いを与えないで会話を続けることができる。直前の話題だけでなく、直後の話題にも注意を払う必要がある。

4.　まとめと今後の課題

会話の中で直接話題転換方略が問題なく使用できるのは、直前の話題や発話に関連のある話題が多い。全く新しい話題を提供する際に、直接話題転換方略だけではなく、直前の話題の終了を示すことができる「笑い」や「間」といった非言語的方略と合わせて使用したほうがより効果的である。

今回の調査は JSL 学習者を対象に行った。日本語使用機会が少ないと予測される JFL 学習者は JSL 学習者より数が多いことから考えると、JFL 学習者を対象にする調査が必要である。また学習環境の違いによって、JSL 学習者と JFL 学習者の使用状況が異なると考えられる。それによって指導する必要がある項目が異なってくるのだろう。

注

１）インドネシア人と日本人に使用される方略。

２）インドネシア人にのみ使用される方略。

３）日本人にのみ使用される方略。

参考文献

花村博司（2012）「日本語の会話における話題転換方略の出現傾向」『日本語教育国際研究大会名古屋 2012 予稿集』.

楊虹（2005）「日本語母語話者による初対面会話に用いられる話題転換ストラテジー（第 30 回日本言語文化学研究会ポスター発表要旨）」『言語文化と日本語教育』30，pp. 83-86.